

はにい

受けとる指導主事

平成24年6月18日

平成24年4月20日(金)大井町学びづくり研究会だより

Teacher's Time

第32号

発行者: 野地 崇

○4月17日(水) 『小動物のけい養を考えよう』(6年) 村越 正吾 教諭

大井町で目指している授業づくりと研究活動、を、新しく異動により赴任された先生方に理解していただき、すでに共同で研究を進めるために授業公開を開催しました。今回は村越教諭による異動の授業です。相和小学校からも異動された先生が参加されました。4/20(木)には、同級教諭による遠征の授業が公開されます。まさに『百聞は一見に如かず』です。


新しく大井町に赴任された先生方は、年度始めのこの時期は慣れない環境と多くの事務処理でなかなか研究冊子等に目を通す余裕はないのではないのでしょうか。

『足場づくり?…なんじゃい?』
『協同学習?…グループでの活動は前の学校でも研究していたぞ。』

そんなとき、ちょっと隣のクラスの授業を覗いてみてはいかがでしょうか。多くの先生が、また日本中の学校で「わかる授業づくり」を目指していますが、方法論や具体的な取り組みは星の数ほど存在します。大井町のこれまでの研究成果を実感していただき、さらに今までの経験を新風として吹き込んでいただくことが大井町の研究をさらに深めることにつながると考えています。これからの授業研究会が楽しみです。

さて、本時の村越先生の授業は、「つくる足場」の授業です。問題文と数直線図を提示して、気づいたことを発表しながら解決の見通しを考えました。

C: 気づいたことを発表します。
C: 2.3mは1mの2.3倍です。ここまてどうですか?
C: だから求める幅は80×2.3だと思います。
『新学期での学びはどうかかな』と少し心



そんなとき、ちょっと隣のクラスの授業を覗いてみてはいかがでしょうか。

多くの先生が、また日本中の学校で「わかる授業づくり」を目指していますが、方法論や具体的な取り組みは星の数ほど存在します。

大井町のこれまでの研究成果を実感していただき、さらに今までの経験を新風として吹き込んでいただくことが大井町の研究をさらに深めることにつながると考えています。
(『大井町 学びづくり研究会だより Teacher's Time』より)

これは、大井町の野地指導主事が2年前から発行している教員向けの通信です。毎回、町内の学校の授業を取材し、写真入で紹介しています。

紹介した一節は、新しく町へ赴任してきた先生方へのメッセージ。「新風」を吹き込んでもらうことを期待しています。

先日の会議(第1回足柄上地区学力向上支援連絡協議会)で、この野地指導主事は次のように語っていました。

「今年は、各校の特色を出してもらって、私も発信型の学びづくり通信でなく、受けとり型の学びづくり通信をめざしていきたいと思っています。」



さて、こちらは隣り町の新谷指導主事。朝から幼稚園を訪問して、子どもたちと遊んでいます。実は、新谷指導主事は、3月まで、小学校の教師でした。

そんな彼が、4月から、町の幼稚園、小学校、中学校すべての指導をすることになったのです。今日は朝から、幼稚園、小学校、中学校と訪問し、先生方の普段の営みを受けとっていきました。

次ページに、県内各地の指導主事が発行している受けとり型の通信をいくつか紹介します。

←寒川町『学びっこニュース』

平成23・24年度 寒川学びっこ育成推進事業
学びっこニュース No.4 平成24年5月25日(金)
 ～学校教育だより 臨時号～
 発行 寒川町教育委員会学校教育課

＜シリーズ 実践探訪①＞
一点集中の取り組み！
寒中 にこにこスタディー



寒川中学校では、学力向上の取り組みの一つとして、「にこにこスタディー」がスタートしました。定期試験の1週間前に行う補充学習のことなのですが、学校独自のネーミングを考案しました。にこにこスタディーは、放課後の50分間を25分ずつに分けて教科別の教室で学びます。内容的には、基礎的基本的な問題の復習や個別学習支援、学習相談（個別指導）などです。にこにこスタディーの特長は、①教科ごと（5教科）の教室に分かれて学ぶ。②1～3年生が選んでいる。③校長、教頭先生を先頭に全ての先生が入る。といった所にあると感じました。生徒に聞くところ、「先生にも聞けるし友達にも聞ける。家に帰ってもやる気が出る」と話してくれました。

☆寒中の校内研究では、「個別学習指導の強化」を柱に据えていることから、次のようなことが今後期待されます。
 ①全教員による学校丸ごとの一体的な理解→積極的姿勢的な生徒指導への発展
 ②つまづきや未定着に関する状況把握→個に着眼した学習指導、授業づくりの探求
 ③生徒が適切な学習方法を知ること→家庭学習の定着、促進
 ④補充学習の内容検討→思考力・判断力・表現力等を育む授業づくりへの発展
 ⑤にこにこスタディーの継続→補充学習スタイルの定着、自己学習の質の高揚等々。

発行日：平成24年6月11日
 発行所：きよかわ学びづくり推進連絡協議会
 事務局：清川村教育委員会 255-1215

きよかわ学びづくり通信

チームの和は友情の証し！
 ～小学校4年生の作戦タイム～



さて試合が始まると、どの子もみな、目をきらきらさせてボールに集中しています。とても一生懸命。そして、とても楽しそう。

別荘が終わりました。子どもたちは試合の作戦タイムを始めた。さっきのチームの結果はどうだったかな。

先1「楽しくできた人」
 全員「はい！」
 先2「完全勝利だね」
 先3「ライオンぎざぎざでできたからよかったよ」
 先4「今までで内戦がうまくいったね。高く上げたり、低く打ったり、大成功！」

「はげれてもいらいから、サーブの打ち方にご関わる作戦を計画したこのチームは、見事、一勝したようです。みんなで意見を出し合い、練りに練った作戦タイムはなかなか充実しています。担任の先生のホッスルで、動作もきびきび、あっという間に片づけを済ませ、きちんと整列を終えた4年生。次「次の時間は音楽ですよ。」スポーツマンたちは、このあと音楽室に登場です！」

清川村『きよかわ学びづくり通信』

松田町『学びづくり通信「見-つけた！」』

松田町 学びづくり通信 第1号 平成24年5月30日
 松田町教育委員会 発行所：植野 裕人

見-つけた！

まず、～まつだの④の巻～

「学び」「学ぶ」という言葉からどのようなイメージをもつでしょうか。「先生の話をしっかりと聞く」「黒板に書かれたことをノートに書き写す」「教科書などのテキストに書いてあることを覚える」などのことが思い浮かぶかもしれません。約60年ぶりに改正された「教育基本法」（平成18年12月）の第三条には、「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を過ごすことができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を生かすことができる社会の実現が図られなければならない」とあります。生涯にわたって学び続ける人…生涯学習の理念が語られています。新しいことを知ることや、何かができるようになることは、とても嬉しいことです。「学ぶ」ということは、とても楽しいこととも言えるでしょう。では、小学校や中学校では、「学び」「学ぶ」ということは、どうあれは良いでしょうか。このことに正面から向き合うのが、この「かながわ学びづくり」の研究です。神奈川県で今年度、10の市町が推進地域となっています。

平成24年度 推進地域

湯河原町	小田原市	松田町	大井町	伊勢原市	秦野市	綾瀬市	寒川町	逗子市
------	------	-----	-----	------	-----	-----	-----	-----

山北町学びづくり通信 **やまがき** 山北町教育委員会 学校教育課 平成24年6月12日

「ゴールをめざして」～清水中 道徳の探究研究から～

日本中が金曜日食で沸いたこの日、清水中学校では、全校での日食観察後、道徳の研究会が行われました。この日のテーマは「公德心」「相手の立場を尊重して物事を考えられることの大切さ」に気付くことが本日のねらいです。そこに迫るため、授業者の先生は模造紙を用いたの工夫や、話の流れがわかるための工夫をたくさんしていました。そして、興味した「問いかけ」から生まれる生徒たち一人ひとりのことばを丁寧に受け止めていきます。

- 自分の気持ちと相手の気持ちが一緒になることはむずかしい。でも他の人の意見もちゃんと聞いていて、決めつけはしない。
- 自分の考えがいつも正しいと勘違いしなくていい。

これらは、授業の最後に生徒たちが感じたこととして発言したことのごく一部。生徒たちはとても素直に自分の感じたこと・考えたことを表現していました。

ここに至るまでの先生の「問いかけ」や子どもたち同士での「問いかけ」から生まれる生徒たちことば・学び。その「問いかけ」こそが清水中の研究テーマであると校長先生や研究主任の先生からうかがいました。

付箋紙を用いた協議では、教師・生徒の動きそれぞれについて、「よい学びの場面」・「課題となること」を意見交換する中でファシリテーターの先生が素早くそれを書き込み、話し合いが深まっていきました。特に、「問いかけ」といった視点から「子どもたち同士の意見交換の場面をもっと作ってもよいのでは…」「懸念の場面を…」など熱心な議論が交わされていました。最後に教頭先生から、「授業を振り返ることの大切さ」というお話もあり、協議は教師同士の「学び合いの場」であることを改めて感じた研究会でした。

昨年に引き続き、市内の各学校・幼稚園の研究の様子を少しずつお伝えできたと考えています。タイトルを変えて心機一新です。どうぞよろしくお願ひいたします。

山北町『学びづくり通信「やまがき」』

かながわ元気な学校づくり通信『はにい』とは、
 学校が元気になるように…
 先生の仕事を受けとる
 学校に携わる大人たちがしていることを受けとる
 そして、もちろん子どもたちの育ちを受けとる
 そんな、コミュニケーションツールです。 みんなで語り合しましょう。
 専用メールアドレス： inochi4027@pref.kanagawa.jp
 ホームページ： 近日公開！